

桐間地区事業所等津波避難対策協議会 議事録

日時：平成24年11月13日（火）14:00～15:00

場所：桐間南1番地 ぐる～めすさき

出席者：事業所（別紙のとおり）

市（地震・防災課）

消防（須崎消防署長、須崎消防団多ノ郷分団長）

○挨拶及び会議趣旨説明

桐間地区につきましては、昼間人口、昼間の人口が1番多いという事、避難課題があるという事で、皆様方にお集まりを頂いた。

須崎市につきましても、桐間地区の避難は、行政としても検討しており、8月に皆様方からのご意見もお聞かせいただき、本日、その時に伺えなかったご意見を聞かさせて頂いて、桐間地区の津波避難計画を皆様方と一緒に取り組んでいくことを考えている。

○市の防災対策について

地震・防災課より須崎市の防災対策（基本方針）を説明

○各事業所の避難対策の現状

桐間地区の大規模事業所震災対策の聞き取り調査を8月に地震・防災課と須崎消防署で実施した。※聞き取り調査内容は別紙、資料のとおり

主な要望・意見として、周辺の津波避難場所が分かりにくいという事で、緊急避難場所を明確にし、誘導するような表示板を設置してほしい。消防法に基づいて、年に2回の従業員訓練を行っているが、顧客に高齢者の方も多いので避難時間に不安を感じている。高速道路に（階段設置等）避難できるようにしてほしいなどの要望・意見があった。

本日は聞き取りが出来ていなかった事業所に避難対策及び要望・意見等を伺う。

・株式会社高知前川種苗

8月の避難訓練で、店から須崎生コンまで14分ほど時間を要した。もっと早く避難できる方法として高速の方に階段など付けてもらえれば考えている。

・葬祭会館ルミエール土佐くろしお

避難場所は城山方面という事で、セントラルディーボさんと同じように考えている。しかし、海から津波が来るのに海の方に逃げて行かないといけない点が不安を感じる。

また、夜間、宿泊されるお客がおり、その場合の避難誘導も不安に感じている。

・四国労働金庫須崎支店

支店内では、緊急の地震速報が流れるようになっており、放送と同時に避難することになっている。避難場所はエムセテック高知工場で10分くらい掛かる。当金庫では一度にたくさんのお客様が来るという事はないので、職員が誘導するという形で十分対応できると考えている。ただ、

線路を渡るという形になるので、通常の経路では10分以上掛ってしまうので、災害緊急時には線路を渡るような形で行ければ短縮できる。

・ ouchi生協須崎支店

本社は災害対策マニュアルを策定しているが、須崎支店の状況を踏まえたものにはなっていないので、独自に避難場所はエムセテック高知工場を設定している。

実際避難訓練等を行っていないが、学習会や訓練を今後実施していきたいと考えている。市の指導を願う。

・ 有限会社タイヤガーデン須崎

会社の方で独自にマニュアルを作っており、それを店舗に貼るようにしている。

10月23日には会社で防災訓練を実施し、9:00に地震が発生し、津波を想定してエムセテックへ避難した。避難時間は12~13分程度であったが、経路に線路があり、以前は妙見山公園へ高架を越えるようにしていたが、エムセテックに行くには線路の下を潜って行かなければならず、道も狭いので、線路を早く渡れるように新しい道を整備して頂きたい。

・ ベテルホーム

マニュアルは作っており、年2回の訓練を行っている。

津波の規模により、4階へ避難することを決めているが、実際に起こった時はどの位の規模か判らないので、情報をすぐに受け取る準備をしている。

その情報により車でエムセテック、ばんだ湯の香荘まで避難することを考えており、9月に訓練を行った。避難時間はエムセテックまで車で5分、ばんだ湯の香荘まで8分で行けた。ただ、会社の車は数が限られており、本番では全職員の車で誘導すれば、出来るだけ早く遠くへ逃げられると考えている。

・ 株式会社サークルK須崎桐間店

マニュアルは作っていないが、従業員に対する声掛けはやっており、道路が壊れていなければ城山に避難する事も出来る。

要望として城山トンネル上り口に雑草が生えており、刈っていただきたい。また、県外の顧客もいるので避難場所の表示もお願いしたい。

・ 高知日商プロパン株式会社須崎営業所

10月に年1回の防災訓練を実施しており、火災訓練と地震・津波の避難訓練をしている。現在、妙見山を避難場所としているが、1番近いのは城山方面ということで、実施に訓練し5分で行けたが、一旦海の方へ行くので逃げ方に課題がある。

● 質疑・意見等

・ 消防団分団長

現時点でもこの周辺事業所の車両台数は700~800台近く、通過車両も含めると相当数になってお

り、地震後の車両避難は信号機が破損して稼働しなくなった場合、渋滞が予想される。

いろいろな人から話を聞くが、1番安全な避難方法は徒歩なのかもしれない。

また、消防団員も40名弱しかおらず、救助に行くのは厳しいので、事業所で避難マニュアルを作成し、自分の命は自分で守っていただくことを考えてもらわないといけない。

東日本を視察した際、各消防団からほとんど出来る事がなかったという回答であった。

地震津波に備え、色々な事を考えて、地元の住民の方、家族の方と話をしてほしい。

・消防署長

立地条件も踏まえて、避難場所まで距離が等しいと1つだけに決めづらいですし、1つだけでは実際にそこへ行けなかった場合は厳しいので、複数の避難場所を考えておくことが大事である。逃げる時に地元以外のお客さんは分かってそこへ逃げられるか。また、車の利用という事も考えていく必要があると思う。

・地震・防災課長

須崎バイパスと国道56号のトンネル付近の雑草の件、また、高速道路へ上がる階段については、具体的に国土交通省と協議する中で、避難場所としての指定は難しいが、避難経路として城山方面、市役所方面への経路として使用したい旨をお願いしており、先方から明確な話が来ましたら、皆さまにご報告したい。雑草等の管理については、国土交通省四国整備局土佐国道事務所が基本的に思うが、市役所まで避難するには若干遠いので、城山への避難についても考えてもらいたいとの要望もしている。

Q. 避難経路・照明とかの設備は進めているのですか。

A. 桐間地区に限らず、その他の地域も含めて、現在避難経路の整備を集中的に行っている。

まず、逃げる道が出来てから照明等の整備を予定している。

Q. エムセテックへ避難をされる事業所が多いなと感じたが、避難人数の問題など、適当なスペースが確保できるのか。

A. 須崎市で津波避難計画を策定しており、地域別住民数で避難者数をカウントして場所を設定しているので、実際に計画以上の人数が避難してきた場合、厳しいと考える。

たとえば、エムセテックの避難者数について、あくまで対象となる地区に居住されている方の人数でカウントしており、500人程度を想定しています。ただし、時間帯によって流動的で、日中は仕事に行かれている方が多い、逆に夜間の場合はほとんど居ます。課題は桐間方面から何人避難するのか想定できていない。このことを踏まえ、桐間地区でどのように避難誘導するか、人数や場所を整理したうえで、地域と調整し、避難道や場所が確保できるか考えていきたい。

Q. エムセテックと城山トンネルへの移動時間が一緒ぐらいで、分かり易さで城山としています。エムセテックへの道を説明するのが難しく、顧客も年配の方がいらっしゃいますので、避難経路の案内方法を充実したら従って行ってくれるとは思いますが、高速道路への段階を整備して頂いたら、桐間地区としてありがたい。避難場所を迷っている間の時間が生死に関わる時間かと思うので、

迷わずに進めるように説明できるものがあれば非常にありがたい。

A. 行政だけが決めるのではなく、事業所の皆さんと協議しながら、適当な場所を決めることが理想であり、表示板もしていければ1番効率が望めるのではと考える。

○桐間地区避難対策の方向性

桐間地区の避難対策の方向性として、車両で来られるお客が多いので、車で避難される方も予想される。ベテルホームについては、車じゃないと不可能だというような意見もあり、それぞれ事業所によって違いがあると思う。原則徒歩避難であることを踏まえ、桐間地区にとって良い避難方法をご検討頂きたい。

●桐間地区での車避難について

・線路付近事業所

徒歩で逃げ遅れというのはないと思う。車を使ったら線路が邪魔になり逃げにくい。また、車が国道へ集中するので尚更厳しい。

・消防団分団長

8月の避難訓練の時に、各事業所にサークルKから徒歩で各避難場所までの時間を書いた紙を配ったので、参考にされたい方は消防団まで。

Q. 城山に避難場所計画について、また、桐間地区にも計画あるのか。

A. 城山の避難場所の計画は、基本的には旧市街地側であり、桐間地区で具体的な計画はない。

Q. 車での避難も遠ければやむを得ないという考え方は、基本的に国の指針ですが、須崎市はどのようなのか。

A. 原則論ですが、車を使う避難はリスクもあります。一方、一人で避難することが困難な方がたくさんの場合、車はだめだと言い切れないと考える。車避難は災害時に避難が困難な方を限定していくような考え方で、健全な方は徒歩というのが原則と思う。

今後、須崎市の防災会議で、国・県などの機関に集まっていただき、検討することになっているが、基本的には徒歩、避難が困難な方については車の避難という形で協議したい。

Q. 弊社では地震が起こった際、1度お客様駐車場に集まってもらい避難誘導する計画を作っていたのですが、車が渋滞していた時に1人の方が車から出られて置いて逃げたら通行が不可能になりますし、店側だけの誘導では限界もあります。

たとえば、須崎市以外の方にどこに避難すればいいかという事を予め知って頂くというのが重要です。自己判断という事になると思うので、行政の方から市民の方に「どこ」にいたら「どこ」に逃げた方がいいかを周知していただきたい。

A. 桐間地区の避難場所は市内外で質問がありますので、この会議で決まったことを周知していきたい。

Q. 防災無線が店のBGMで聞こえないので、サークルKあたりに屋外放送スピーカーを設置し

てほしい。

A. マルナカの前に整備しているが、ご質問のとおり店内では聞き取れないという意見がある。
昨年から事業所にも防災無線戸別受信機を配布していますので、店の有線に繋いだり、責任者の方がすぐ聞ける状態でしたら告知も出来ると思うので工夫して頂きたい。

Q. 車避難の問題について、須崎以外の地区から来られる方も大変多いと思うし、当然この場所から考えれば車で逃げたいという心理は働くと思う。

須崎市の方からポスター等で生存率が車で逃げるよりは歩いた方が高いなどといったポスターを作成して周知してはどうか。多少は緩和していけるのであれば、やらないよりは良いのでは。

Q. 店側から絶対に車を使わないでとは言えない。個々の判断でお願いするしかないので、住民に車両避難のリスクを知ってもらいたい。

A. 車両避難のリスクは当然示していかなければならないと考えている。

○その他

・地震・防災課

顧客の誘導をどうしていくか、車避難・徒歩避難という部分の考え方を市が整理し、方向性を示すべきと感じました。

桐間地区の避難計画を作ることが必要であり、避難のルールづくりが大切ですので、こういった話し合いの場を持って進めていきたい。

また、高速道路への避難については、再度国交省に確認して説明できるようにしたい。

今後について、1月か2月に開催する案内をしたい。その際に、本日頂いた課題を整理し、お送りする。